

### WANAの鐘

WANAとは、We Are Not Aloneの頭文字であって、「私達は1人ぼっちではない」という意味です。WANAの鐘は地域との連帯とお年寄りの「仲間の輪」を示しています。



平成31年4月1日 第110号  
発行所 社会福祉法人 清和会  
発行人 林 静誠  
編集 清和会広報部  
船橋市飯山満町2-681  
☎ 047(467)6111(代)  
ホームページ: http://wana.or.jp/

## 清和会後援会より 心温まる贈り物 平成31年3月法人に6台の車イスを寄贈



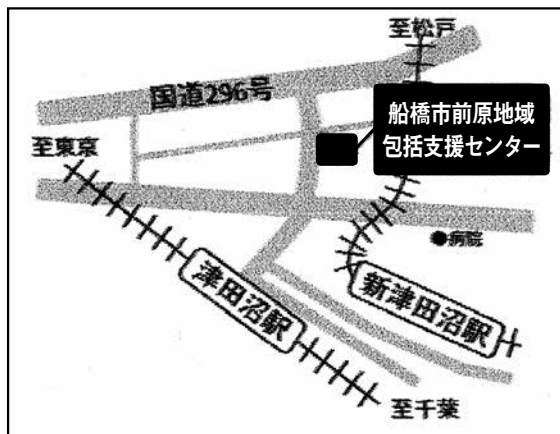
林静誠理事長 林節子施設長 松山典夫後援会会長



特浴をリニューアルしました。(平成31年3月導入ワールドナーシングホーム)

地域包括支援センターは地域の高齢者やその家族などの相談や地域の方からの高齢者に係わる相談を受け、保健・医療や福祉サービスに結びつける対応やその方が尊厳ある生活が続けられるよう自

平成31年4月から当法人は船橋市より受託を受け、「船橋市前原地域包括支援センター」を開設します。(前原在宅介護支援センターより移行)高齢になってもいつまでも元気に暮らし続けられ、たとえ障害があっても、介護が必要になっても、住み慣れた地域で、自分らしく安心して暮らし続けられるよう、「住まい」「生活支援」「予防」「介護」「医療」のニーズに応じた支援が一体的に受けられる地域づくりを船橋市では目指しています。



船橋市前原地域包括支援センター  
船橋市前原西2-29-10 電話 047-403-3201  
(受付) 平日9時~17時 (休業日) 土・日・祝日

立支援に基づいた支援を行います。自己の権利を表明することが困難な方の権利擁護やニーズ表明支援を行い、成年後見制度などの活用などにより、生活を守っていきます。センター職員は看護師、社

また、地域の介護予防や生活支援の情報紹介にも力を入れ、前原地区が安心して暮らせる地区となるよう、センター職員一同努力して参ります。どうぞよろしくお願いたします。

### 平成31年度 事業方針

# 地域と連携する福祉活動

## 認知症対策の強化を

社会福祉法人清和会 法人本部長 林 武仁



平成31年度からは、船橋市から公募のありました「船橋市前原地域包括支援センター」を当法人が受託し、運営する事に

なりました。地域包括センターには、5人の専門職員を配置します。厚生労働省の統計によると、認知症患者数は2025年には70万人、65歳以上の5人に1人が認知症になると言われています。認知症は急にはなりませんので、身近な方が少しでも異変に気が付いたら、「地域包括支援センター」に相談して下さい。症状

が重くなつてからでは遅く、家庭崩壊にもなりかねません。人生100年時代を迎え、認知症は徐々に年齢とともに進行していきます。また、協力病院である「医療法人同和会千葉病院」内には、「認知症疾患医療センター」がありますので、タイアップして対応していきたいと思いま

す。認知症が進行している行動として、  
・家から出ない、運動しない。  
・返答に間がある。  
・買物時にお札を使い、小銭がたまる。  
・趣味等好きなことをしなくなつた。  
等いろいろなケースがありますが、当の本人は気づきません。近所、身近な人で少しでも変だなと

思ったら相談して下さい。ワールドナーシングホームでは、気軽に介護等の相談を受けるために、毎月第一木曜日に認知症カフェの運営として「WANAオレンジカフェ」を開催しておりますので気軽にお越し下さい。

社会福祉法人清和会は、設立当初から高齢者認知症専門施設として地域に根差しており、法人理念であるWe are not alone「私たちは一人ぼっちではない」を共に助け合つて生きることを合言葉にご利用者が安心・安全に生活し、ご利用者が笑顔で満ち溢れた安心できる環境、福祉サービスを充足し、地域と一体となり、これからも社会協力を努めていきます。



事務所正面玄関 (船橋市前原西2丁目)



所長 野崎 陽子

## 船橋市前原地域 包括支援センターの開設 安心して暮らせる地域づくりを目指して

会福祉士、主任介護支援専門員、介護支援専門員の専門職となり、気軽に相談できる場となる予定です。窓口相談の他、訪問などにも相談可能です。

地域では多くの高齢者が家族の支えや公的サービスのみでは暮らしていくことが困難な方もいます。地域の高齢者の抱える生活課題や健康問題を早期発見、対応や地域の方や専門職との連携により見守り体制の構築などを行い、問題を重度化させないよう検討していきます。